



日本共産党市議会議員団 蕨市役所庁舎前にて
左から武下涼、山脇紀子、鈴木智、宮下奈美の各議員

【市役所新庁舎完成は2023年】

市役所庁舎の建替えに向けた取り組みがすすんでいます。計画では、新年度に新庁舎の詳細設計を検討。また、市役所機能は今年秋に仮設庁舎・仮庁舎へ移転し、その後、現庁舎解体、新庁舎建設工事が行われます。完成は3年後、2023年中の供用開始の予定。

新型コロナウイルス 対策と影響 みなさんの声をお寄せください

休校・自粛の影響、検査・医療体制など
ご意見、ご相談をお寄せください。

メールアドレス: info@jcp-warabi.jp
ファックス: 444-6531



3月定例市議会（2月20日から3月18日）は、新年度予算などの市長提出議案26件、議員間の協議により提案された議会改革関連議案2件を可決しました

党市議団の論戦

（新事業・議会改革は2・3面）
本会議で党市議団は、一般会計予算や市政全体にかかわる代

2020年3月議会報告

消費税増税、新型コロナウイルス感染拡大の影響は深刻 市民の願いをいかし くらしを支える市政に全力を！

3月市議会 鈴木さとし議員の代表質問



鈴木 さとし のプロフィール

- 市議5期、党市議団長、総務常任委員会委員、党市議員長 社会保障をよくする蕨の会副会長
- 家族は、妻と子3人
- 中央5-9-7 ☎444-6957
- 主な活動地域 塚越2・3・6・7丁目
中央1・3・4・5丁目

生活相談などお気軽に

ツイッター・フェイスブックでも発信中

昨年10月の消費税増税以来、消費は冷え込み、暮らし、経済の状況は深刻です。こうした中、「あつたか市政」の役割は重要であり、災害や新型コロナウイルス感染症への対応、気候変動・温暖化対策、ジェンダー平等など今日的課題でも、対応が求められています。

「くらしを支えるあつたか市政

【鈴木】くらしを支える課題について、どのような位置づけか。

【頼高市長】消費税増税後のGDPの落ち込みは、消費低迷が最大の原因。新型コロナウイルスの問題もあり、影響は計り知れない。

「あつたか市政第2ステージ」は、くらしを支え、市民と心通い合う「あつたか市政」の継続発展が基本。

その上で、未来に向けた事業にも取り組む。市民に最も身近な自治体として、市民の福祉の向上、くらしを守るという原点がますます求められているという立場から、市政運営に当たる決意。

「財政状況について

【鈴木】借入金の現状は。

【総務部長】2020年度末の借入金残高合計の見込みは、約298億8400万円（臨時財政対策債を除き175億5300万円）。

2018年度比で3億1200万円増。市長就任時比で64億2500万円減。当面、多額の事業費を要するため借入金合計は増加。

【鈴木】この間の財政健全化が、必要な事業を可能にしたと理解。

新型コロナウイルス対策

【鈴木】感染防止の対応は。

【市民生活部長】（2月28日現在）危機対策会議を3回にわたり開催。

感染が疑われる人の要件や予防対策、県相談窓口について市ホームページ等で周知した。また、感染予防のため、市主催のイベントや集会を中止・延期する基準を設定し、該当イベントを中止した。

【鈴木】地域経済への対策は。

【市民生活部長】「中国からの納入が遅れている」「感染を懸念して利用客が減少」などの状況。県や国の資金繰り支援策について商工会議所と連携し周知を図りたい。

【鈴木】利子補給など市の独自策も検討を。ところで、小中学校の「休校」は、国の指示が二転三転する中での対応であり、担当者の苦労を察する。一方で、各自治体で対応が異なる状況も把握。今後は柔軟に対応するよう求める。

議会で要望し実現へ

ぶらっとわらびルート拡充
西ルートでの逆回り、東ルートでの市役所直通、駅前商店街への乗り入れを実現

塚越地域に
包括支援センター
来年度開設めざし事業者を募集。実現までがんばります。

未来を拓くくらしを支える

3月市議会・よりたか市長が表明

頼高市長の「あつたか市政」第2ステージがスタート。蕨駅へのホームドア設置やコミュニティバスぶらっとわらびのルート拡充など、大きく動き出しています。

施政方針では、「未来を拓く」をテーマに、マニフェストなどの推進を図りつつ、「防災」と「教育」をキーワードに2つの重点事業と未来への3大プロジェクト

した（代表質問、及び質疑等の詳細は4面）。

コロナウイルス感染症 と議会、党市議団の対応

今議会、党市議団は、議長の要請を受け、一般質問を通告しませんでした。新型コロナウイルスの感染防止や安倍政権による突然の「休校」要請に対応する市執行部に配慮した判断です。新型コロナウイルス対策については、市長、教育長あてに要望書を提出。感染防止の徹底、相談窓口充実や事業者への支援、情報発信の充実などが内容です。

クトを進めると強調しました。また、日本共産党の代表質問に対する答弁では、消費税の増税や新型コロナウイルスについて「影響ははかり知れない」との見解を表明。「第2ステージは、くらしを支え、市民の皆さんと心通い合う『あつたか市政』の継続発展が基本。その上で、未来への事業にも取り組む」と強調しました。

日本共産党市議団の 質問・質疑

今議会、日本共産党市議団は、全員が本会議で発言。代表質問、議案質疑を通して、市民の声を伝えました。

やまわき紀子議員

国保税率見直しの国保会計予算に質疑

【山脇】税率見直しについての市長の考えは。

【市長】国や県の方針から苦渋の決断をした。引き続き県内でも低い水準での保険税率を維持していく。

武下涼議員

介護保険特別会計予算の質疑

◆「みんなにあたたかく健康で安心して暮らしをまわらび」の実現について

◆塚越地区における第三地域包括支援センターの開設準備経費の計上

宮下奈美議員

◆錦町区画整理事業特別会計補正予算について、国庫補助金や建物移転などについて

◆病院会計予算について、2019年度の現状と2020年度の見通し、および事業内容について

日本共産党蕨市議団ニュース

3月市議会報告

2020年4・5月号

TEL 443-8332
FAX 444-6531

市会議員

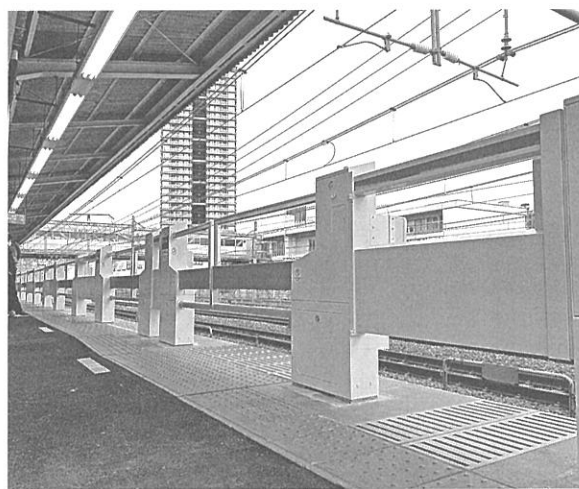
鈴木 智 ☎444-6957 山脇紀子 ☎446-3129
宮下奈美 ☎211-0922 武下 涼 ☎070-6962-0841
ホームページアドレス
http://www.jcp-warabi.jp
メールアドレス info@jcp-warabi.jp



2020年度 市民の願いがつつまげた予算が成立

安全安心のまちへ

- ◆市役所新庁舎建設の基本設計・実施設計（庁舎の解体、仮庁舎への移転）
- ◆消防署塚越分署の新庁舎（7月末の完成予定）
- ◆防災行政無線デジタル化（来年度にメール、電話、ファックスなどで情報提供する機能を追加）
- ◆中学校3校の体育館空調設備設置へ設計（工事は来年度）
- ◆蕨駅のホームドア供用開始（2月29日から）
- ◆市民公園の大型遊具リニューアル、5つの公園の長寿命化計画策定、公園灯のLED化



蕨駅に設置されたホームドア

みんなにわたがらまちへ

- ◆認可保育園等の増設（民間認可保育園1園、小規模保育園へ2園）
- ◆塚越地域に民間留守家庭児童指導室を開設
- ◆35人学級の対象は、西小3年、中央東小3・5・6年、塚小4年の計5学年。
- ◆児童・生徒に1人1台のパソコン整備（今年度、小学5・6年生と中学1年生、特別支援学級）
- ◆校内無線LAN整備等）
- ◆手話言語条例制定にむけ、手話通訳者養成準備コースを新たに開設
- ◆高齢者運転免許証の自主返納への支援（65歳以上の免許証返納者にタクシー券または国際興業バス回数券を配布）
- ◆第三地域包括支援センターの公募（塚越地域に来年度開設予定）



蕨錦町ゆたか保育園（4月開園）

快適でやさしいまちへ

- ◆ぶらっとわらびの4路線運行開始（3月27日）
- ◆受動喫煙防止の推進（5月に西口喫煙所撤去後、見回り強化と路面シートを増設）
- ◆商店街街路灯電気料を100％補助
- ◆住宅リフォーム助成制度
- ◆多文化共生のまちづくり推進へ（指針策定に向けた外国人も含めた意識調査や検討組織の立ち上げ）
- ◆歴史民俗資料館に河鍋暁斎美術館の紹介コーナーを設置



コミュニティバスぶらっとわらび

市立病院の充実・発展こそ

市民の願い

昨年、厚生労働省は、「再編・統合の議論が必要」な病院として、蕨市立病院を含む約440の公立公的病院の名前を公表。実情を無視した乱暴なやり方に「努力を無視するもの」など批判が広がっています。党市議団は、救急、周産期、小児等、市立病院が地域で果たしている役割を強調。充実発展こそ市民の願いと訴えています。



国の制度改革などが影響

国保税率を見直し

20年ぶりに国保税率を引き上げる条例改正。年々増加する医療費に加え、国の制度改悪の影響によるものです。特に、市民負担を抑えるための市の努力（一般会計から国保会計への繰出金の一部）を「赤字」と決めつけ「削減」を押し付けていることは重大です。国政を変える運動と世論が必要です。

なお、改定には、「市民への影響は最小限に、県内で最も低い国保税水準を守る」とした党市議団の要望が反映されました。

議会改革がすすむ

「費用弁償」廃止など

議会改革として議論してきた2つの議案が可決されました。

一つは、予算決算常任委員会の設置、もう一つは、議員が議会に出席する度に交通費などの費用として支給される「費用弁償」の廃止です。費用弁償については、支給の根拠が曖昧であり、長年、党市議団は廃止を提案してきました。

また、党市議団が主張してきた政務活動費の情報公開では2019年度分より領収書も含め全て公開。ホームページ上にも掲載されます。

悩み・困りごとは
日本共産党にご相談ください

事務所 ☎443-8332 FAX444-6531



鈴木さとし



やまわき紀子



宮下奈美



武下 涼

国保税の見直しをする国民健康保険会計予算について質疑

これまで国保税率を県内で一番低い水準に据え置いてきた市の努力を高く評価する。一方で、国の社会保障改悪による国保の広域化で県内でも国保税率統一化の動きや、医療の高度化による医療費の増大によって、蕨市においても国保税率の一定の見直しは避けられない状況にあることも理解すると発言し、見直し後も、市民のくらし、健康を守る立場から、県内でも低い水準を維持できるよう努力を求めました。

【山脇 国民健康保険税の見直しにいたる国・県の動向や背景、本市

3月市議会 やまわき紀子議員の質疑



やまわき 紀子 のプロフィール

- 1972年わらび生まれわらび育ち
- 現在、市議6期、環境福祉経済常任委員会委員長、原水爆禁止蕨市協議会副会長。保育園、学童、小中高校PTA役員など歴任。
- 住所 南町2-31-14 TEL・FAX446-3129
- 主な活動地域は、南町全域。

困りごとや市政への要望など
ご相談お受けしています。

HPで情報発信中

におけるこの間の経緯はどうか。

【市民生活部長】国保の広域化の実施や県からは赤字削減計画の提出が義務づけられた。削減すべき赤字額約8億円を23年度までに約2億6千万円を解消する計画。国保運営協議会に諮問し、見直しとの答申をつけた。

【山脇 税率見直しについて頼高市長の考えはどうか。

【市長】国保は市民の健康を守る上でも、国民皆保険制度の重要な要である。保険税率を県内で低い水準に維持することに努力を続けてきたが、国や県の方針から税率改正をお願いするという苦渋の決断をした。国保全体の安定的な運営には国からの財政支援は欠かせない

いし、繰入金をなくすのも現実的ではない。きちんと意見は言っていく。引き続き、収納率の向上や健康づくり、特定健診受診率の向上など医療費が増大しないよう努力し、引き続き県内でも低い水準での保険税率を維持していきたい。市民の皆さんには市長を先頭に丁寧に説明していきたい。

コミバスの南ルート 3・4丁目への拡充と 市役所へ直結



第一便に乗車する山脇市議

新年度予算に もりこまれた地域要求

- 交流・ラザサのエリア整備(秋工事予定)
- こまどり保育園が小規模保育室へ移行
- 大荒田交通公園・あけぼの公園、三和公園の長寿命化計画を策定
- 第一中学校体育館へエリア整備のための設計委託
- 南公民館2階女子トイレ洋式化
- 蕨駅西口喫煙所廃止
- 高齢者への免許証返納者へ支援

2020年3月議会報告

消費税増税、新型コロナウイルス感染拡大の影響は深刻 市民の願いをいかし くらしを支える市政に全力を！

3月定例会市議会(2月20日から3月18日)は、新年度予算などの市長提出議案26件、議員間の協議により提案された議会改革関連議案2件を可決しました

党市議団の論戦

本会議で党市議団は、一般会計予算や市政全体にかかわる代

(新事業・議会改革は2・3面)。

未来を拓くくらしを支える

3月市議会・よりたか市長が表明

頼高市長の「あったか市政」第2ステージがスタート。蕨駅へのホームドア設置や「コミュニティバス」がらつとわらびのルート拡充など、大きく動き出しています。

施政方針では、「未来を拓く」をテーマに、マニフェストなどの推進を図りつつ、「防災」と「教育」をキーワードに2つの重点事業と未来への3大プロジェクト

した(代表質問、及び質疑等の詳細は4面)。

コロナウイルス感染症 と議会、党市議団の対応

今議会、党市議団は、議長の要請を受け、一般質問を通告しませんでした。新型コロナウイルスの感染防止や安倍政権による突然の「休校」要請に対応する市執行部に配慮した判断です。新型コロナウイルス対策については、市長、教育長あてに要望書を提出。感染防止の徹底、相談窓口充実や事業者への支援、情報発信の充実などが内容です。

クトを進めると強調しました。また、日本共産党の代表質問に対する答弁では、消費税の増税や新型コロナウイルスについて「影響ははかり知れない」との見解を表明。「第2ステージは、くらしを支え、市民の皆さんと心通い合う『あったか市政』の継続発展が基本。その上で、未来への事業にも取り組む」と強調しました。

日本共産党市議団の 質問・質疑

今議会、日本共産党市議団は、全員が本会議で発言。代表質問、議案質疑を通して、市民の声を伝えました。

鈴木さとし議員

市政と予算全体に関する代表質問

- ◆「あったか市政」第2ステージにおける「くらしを支える」課題の位置づけ
- ◆大型事業が続く中での市の財政状況
- ◆新型コロナウイルス対策での要望 など



宮下奈美議員

- ◆錦町区画整理事業特別会計補正予算について、国庫補助金や建物移転などについて
- ◆病院会計予算について、2019年度の現状と2020年度の見通し、および事業内容について



武下涼議員

- ◆介護保険特別会計予算の質疑
- ◆「みんなにあなたかく健康で安心して暮らせるまちわらび」の実現について
- ◆塚越地区における第三地域包括支援センターの開設準備経費の計上



日本共産党蕨市議団ニュース

3月市議会報告

2020年4・5月号
TEL 443-8332
FAX 444-6531

市会議員

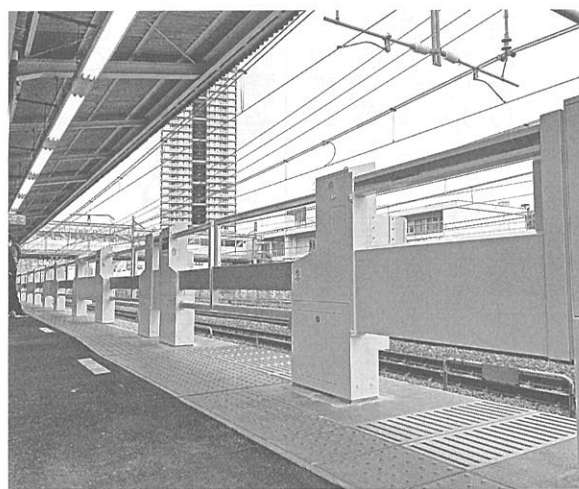
鈴木 智 ☎444-6957 山脇紀子 ☎446-3129
宮下奈美 ☎211-0922 武下 涼 ☎070-6962-0841
ホームページアドレス
http://www.jcp-warabi.jp
メールアドレス info@jcp-warabi.jp



2020年度 市民の願いがつつまだった予算が成立

安全安心のまちへ

- ◆市役所新庁舎建設の基本設計・実施設計（庁舎の解体、仮庁舎への移転）
- ◆消防署塚越分署の新庁舎（7月末の完成予定）
- ◆防災行政無線デジタル化（来年度にメール、電話、ファックスなどで情報提供する機能を追加）
- ◆中学校3校の体育館空調設備設置へ設計（工事は来年度）
- ◆蕨駅のホームドア供用開始（2月29日から）
- ◆市民公園の大型遊具リニューアル、5つの公園の長寿命化計画策定、公園灯のLED化



蕨駅に設置されたホームドア

みんなにわたがらまちへ

- ◆認可保育園等の増設（民間認可保育園1園、小規模保育園へ2園）
- ◆塚越地域に民間留守家庭児童指導室を開設
- ◆35人学級の対象は、西小3年、中央東小3・5・6年、塚小4年の計5学年。
- ◆児童・生徒に1人1台のパソコン整備（今年度、小学5・6年生と中学1年生、特別支援学級）
- ◆校内無線LAN整備等）
- ◆手話言語条例制定にむけ、手話通訳者養成準備コースを新たに開設
- ◆高齢者運転免許証の自主返納への支援（65歳以上の免許証返納者にタクシー券または国際興業バス回数券を配布）
- ◆第三地域包括支援センターの公募（塚越地域に来年度開設予定）



蕨錦町ゆたか保育園（4月開園）

快適でやさしいまちへ

- ◆ぶらっとわらびの4路線運行開始（3月27日）
- ◆受動喫煙防止の推進（5月に西口喫煙所撤去後、見回り強化と路面シートを増設）
- ◆商店街街路灯電気料を100％補助
- ◆住宅リフォーム助成制度
- ◆（工事費の5％、上限10万円を助成）
- ◆多文化共生のまちづくり推進へ（指針策定に向けた外国人も含めた意識調査や検討組織の立ち上げ）
- ◆歴史民俗資料館に河鍋暁斎美術館の紹介コーナーを設置



コミュニティバスぶらっとわらび

市立病院の充実・発展こそ市民の願い

昨年、厚生労働省は、「再編・統合の議論が必要」な病院として、蕨市立病院を含む約440の公立公的病院の名前を公表。実情を無視した乱暴なやり方に「努力を無視するもの」など批判が広がっています。党市議団は、救急、周産期、小児等、市立病院が地域で果たしている役割を強調。充実発展こそ市民の願いと訴えています。



国の制度改悪などが影響 国保税率を見直し

20年ぶりに国保税率を引き上げる条例改正。年々増加する医療費に加え、国の制度改悪の影響によるものです。特に、市民負担を抑えるための市の努力（一般会計から国保会計への繰出金の一部）を「赤字」と決めつけ「削減」を押し付けていることは重大です。国政を変える運動と世論が必要です。

なお、改定には、「市民への影響は最小限に、県内で最も低い国保税水準を守る」とした党市議団の要望が反映されました。

議会改革がすすむ 「費用弁償」廃止など

議会改革として議論してきた2つの議案が可決されました。

一つは、予算決算常任委員会の設置、もう一つは、議員が議会に出席する度に交通費などの費用として支給される「費用弁償」の廃止です。費用弁償については、支給の根拠が曖昧であり、長年、党市議団は廃止を提案してきました。

また、党市議団が主張してきた政務活動費の情報公開では2019年度分より領収書も含め全て公開。ホームページ上にも掲載されます。

悩み・困りごとは
日本共産党にご相談ください

事務所 ☎443-8332 FAX444-6531



鈴木さとし



やまわき紀子



宮下奈美



武下 涼

錦町区画整理事業
特別会計補正予算質疑

地域医療を守る
蕨市立病院会計予算質疑

◆2020年度の見通し

診療報酬の改定や新型コロナウイルス感染症の影響などへの懸念が示されました。また、産婦人科・整形外科・消化器内科の常勤医師確保の必要性も表明されています。

日本共産党市議団の
質問・質疑

今議会、日本共産党市議団は、全員が本会議で発言。代表質問、議案質疑を通して、市民の声を伝えました。

鈴木さとし議員

市政と予算全体に関する
代表質問



◆「あつたか市政」第2ステージにおける「くらしを支える」課題の位置づけ
◆大型事業が続く中での市の財政状況
◆新型コロナウイルス対策での要望 など

やまわき紀子議員

国保税率見直しの国保会
計予算に質疑



◆「山脇税率見直しについて」の市長の考えは。
【市長】国や県の方針から苦渋の決断をした。引き続き県内でも低い水準での保険税率を維持していく。

武下涼議員

介護保険特別会計予算の
質疑



◆「みんなにあなたがかく健康で安心して暮らせるまちづくり」の実現について
◆塚越地区における第三地域包括支援センターの開設準備経費の計上

3月市議会 宮下奈美議員の質疑



宮下 奈美 のプロフィール

- 1976年生まれ・蕨育ち。
- 市議2期。教育まちづくり常任委員会・副委員長、蕨市立病院審議会委員、蕨市上下水道審議会委員。／社会保障をよくする蕨の会事務局次長、蕨市国際交流実行委員、蕨エルドラド姉妹都市協力会会員、PTA会長・役員など歴任。
- 住所 錦町5-1-8
TEL211-0922



ブログ（はてなブログ）
Blog-Nami Miyashita

地域要求実現！

錦町交差点に信号機



2020年3月7日、わらびりんご通りの危険な交差点に信号機が設置されました。西小学校の通学路でもあるため保護者から心配の声が多く2018年9月に校長・PTA（当時私が会長を務める）で信号機設置の要望書を警察へ提出する等の活動を行いました。

新年度に盛り込まれた
地域要求

- 錦町3丁目に「蕨錦町ゆたか保育園」開設。
- 「ぷらっとわらび、錦町・中央を通る西ルートで逆まわり運行（青色のバス）」が開設。

2020年3月議会報告

消費税増税、新型コロナウイルス感染拡大の影響は深刻
市民の願いをいかし
くらしを支える市政に全力を！

（新事業・議会改革は2・3面）。

党市議団の論戦

本会議で党市議団は、一般会計予算や市政全体にかかわる代

3月定例会市議会（2月20日から3月18日）は、新年度予算などの市長提出議案26件、議員間の協議により提案された議会改革関連議案2件を可決しました



日本共産党市議会議員団 蕨市役所庁舎前にて
左から武下涼、山脇紀子、鈴木智、宮下奈美の各議員

【市役所新庁舎完成は2023年】

市役所庁舎の建替えに向けた取り組みがすすんでいます。計画では、新年度に新庁舎の詳細設計を検討。また、市役所機能は今年秋に仮設庁舎・仮庁舎へ移転し、その後、現庁舎解体、新庁舎建設工事が行われます。完成は3年後、2023年中の供用開始の予定。

新型コロナウイルス 対策と影響
みなさんの声をお寄せください

休校・自粛の影響、検査・医療体制など
ご意見、ご相談をお寄せください。

メールアドレス：info@jcp-warabi.jp
ファックス：444-6531



未来を拓くくらしを支える

3月市議会・よりたか市長が表明

蕨市長の「あつたか市政」第2ステージがスタート。蕨駅へのホームドア設置やコミュニティバスぷらっとわらびのルート拡充など、大きく動き出しています。

施政方針では、「未来を拓く」をテーマに、マニフェストなどの推進を図りつつ、「防災」と「教育」をキーワードに2つの重点事業と未来への3大プロジェクト

した（代表質問、及び質疑等の詳細は4面）。
新型コロナウイルス感染症と議会、党市議団の対応
今議会、党市議団は、議長の要請を受け、一般質問を通告しませんでした。新型コロナウイルスの感染防止や安倍政権による突然の「休校」要請に対応する市執行部に配慮した判断です。新型コロナウイルス対策については、市長、教育長あてに要望書を提出。感染防止の徹底、相談窓口充実や事業者への支援、情報発信の充実などが内容です。

クトを進めると強調しました。また、日本共産党の代表質問に対する答弁では、消費税の増税や新型コロナウイルスについて「影響ははかり知れない」との見解を表明。「第2ステージは、くらしを支え、市民の皆さんと心通い合う『あつたか市政』の継続発展が基本。その上で、未来への事業にも取り組む」と強調しました。

日本共産党蕨市議団ニュース

3月市議会報告

2020年4・5月号

事務所 TEL 443-8332
FAX 444-6531

市会議員

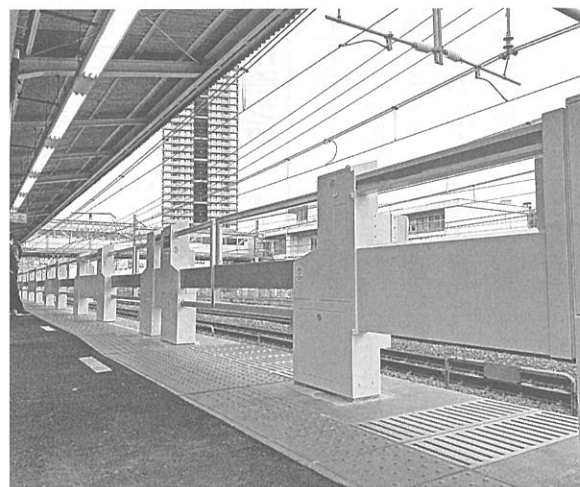
鈴木 智 ☎444-6957 山脇紀子 ☎446-3129
宮下奈美 ☎211-0922 武下 涼 ☎070-6962-0841
ホームページアドレス
http://www.jcp-warabi.jp
メールアドレス info@jcp-warabi.jp



2020年度 市民の願いがつつまされた予算が成立

安全安心のまちへ

- ◆市役所新庁舎建設の基本設計・実施設計（庁舎の解体、仮庁舎への移転）
- ◆消防署塚越分署の新庁舎（7月末の完成予定）
- ◆防災行政無線デジタル化（来年度にメール、電話、ファックスなどで情報提供する機能を追加）
- ◆中学校3校の体育館空調設備設置へ設計（工事は来年度）
- ◆蕨駅のホームドア供用開始（2月29日から）
- ◆市民公園の大型遊具リニューアル、5つの公園の長寿命化計画策定、公園灯のLED化



蕨駅に設置されたホームドア

みんなにわたがらまちへ

- ◆認可保育園等の増設（民間認可保育園1園、小規模保育園へ2園）
- ◆塚越地域に民間留守家庭児童指導室を開設
- ◆35人学級の対象は、西小3年、中央東小3・5・6年、塚小4年の計5学年。
- ◆児童・生徒に1人1台のパソコン整備（今年度、小学5・6年生と中学1年生、特別支援学級）
- ◆校内無線LAN整備等）
- ◆手話言語条例制定にむけ、手話通訳者養成準備コースを新たに開設
- ◆高齢者運転免許証の自主返納への支援（65歳以上の免許証返納者にタクシー券または国際興業バス回数券を配布）
- ◆第三地域包括支援センターの公募（塚越地域に来年度開設予定）



蕨錦町ゆたか保育園（4月開園）

快適でやさしいまちへ

- ◆ぷらっとわらびの4路線運行開始（3月27日）
- ◆受動喫煙防止の推進（5月に西口喫煙所撤去後、見回り強化と路面シートを増設）
- ◆商店街街路灯電気料を100%補助
- ◆住宅リフォーム助成制度
- ◆多文化共生のまちづくり推進へ（指針策定に向けた外国人も含めた意識調査や検討組織の立ち上げ）
- ◆歴史民俗資料館に河鍋暁斎美術館の紹介コーナーを設置



コミュニティバスぷらっとわらび

市立病院の充実・発展こそ市民の願い

昨年、厚生労働省は、「再編・統合の議論が必要」な病院として、蕨市立病院を含む約440の公立公的病院の名前を公表。実情を無視した乱暴なやり方に「努力を無視するもの」など批判が広がっています。党市議団は、救急、周産期、小児等、市立病院が地域で果たしている役割を強調。充実発展こそ市民の願いと訴えています。



国の制度改悪などが影響

国保税率を見直し

20年ぶりに国保税率を引き上げる条例改正。年々増加する医療費に加え、国の制度改悪の影響によるものです。特に、市民負担を抑えるための市の努力（一般会計から国保会計への繰出金の一部）を「赤字」と決めつけ「削減」を押し付けていることは重大です。国政を変える運動と世論が必要です。

なお、改定には、「市民への影響は最小限に、県内で最も低い国保税水準を守る」とした党市議団の要望が反映されました。

議会改革がすすむ

「費用弁償」廃止など

議会改革として議論してきた2つの議案が可決されました。

一つは、予算決算常任委員会の設置、もう一つは、議員が議会に出席する度に交通費などの費用として支給される「費用弁償」の廃止です。費用弁償については、支給の根拠が曖昧であり、長年、党市議団は廃止を提案してきました。

また、党市議団が主張してきた政務活動費の情報公開では2019年度分より領収書も含め全て公開。ホームページ上にも掲載されます。

悩み・困りごとは
日本共産党にご相談ください

事務所 ☎443-8332 FAX444-6531



鈴木さとし



やまわき紀子



宮下奈美



武下 涼



日本共産党市議会議員団 蕨市役所庁舎前にて
左から武下涼、山脇紀子、鈴木智、宮下奈美の各議員

【市役所新庁舎完成は2023年】

市役所庁舎の建替えに向けた取り組みがすすんでいます。計画では、新年度に新庁舎の詳細設計を検討。また、市役所機能は今年秋に仮設庁舎・仮庁舎へ移転し、その後、現庁舎解体、新庁舎建設工事が行われます。完成は3年後、2023年中の供用開始の予定。

新型コロナウイルス 対策と影響 みなさんの声をお寄せください

休校・自粛の影響、検査・医療体制など
ご意見、ご相談をお寄せください。

メールアドレス: info@jcp-warabi.jp
ファックス: 444-6531



3月定例市議会（2月20日から3月18日）は、新年度予算などの市長提出議案26件、議員間の協議により提案された議会改革関連議案2件を可決しました

（新事業・議会改革は2・3面）。
党市議団の論戦
本会議で党市議団は、一般会計予算や市政全体にかかわる代

2020年3月議会報告

消費税増税、新型コロナウイルス感染拡大の影響は深刻 市民の願いをいかし くらしを支える市政に全力を！

未来を拓くぐらつを拓く

3月市議会・よりたか市長が表明

蕨市長の「あったか市政」第2ステージがスタート。蕨駅へのホームドア設置やコミュニティバスぶらっとわらびのルート拡充など、大きく動き出しています。

施政方針では、「未来を拓く」をテーマに、マニフェストなどの推進を図りつつ、「防災」と「教育」をキーワードに2つの重点事業と未来への3大プロジェクト

表質問を行った他、国民健康保険、錦町区画整理、介護保険、市立病院の各特別会計予算に質疑。市民のくらしの実態や切実な要望を紹介するとともに、あったか市政の成果や今後の課題、国政の影響などについて質しました。

新型コロナウイルス感染症 と議会、党市議団の対応

今議会、党市議団は、議長の要請を受け、一般質問を通告しませんでした。新型コロナウイルスの感染防止や安倍政権による突然の「休校」要請に対応する市執行部に配慮した判断です。新型コロナウイルス対策については、市長、教育長あてに要望書を提出。感染防止の徹底、相談窓口充実や事業者への支援、情報発信の充実などが内容です。

した（代表質問、及び質疑等の詳細は4面）。

3月市議会 武下涼議員の質疑



武下 涼のプロフィール

- ◆1990年生まれ
- ◆現在、市議1期、環境福祉経済常任委員、蕨市消防委員、蕨市衛生センター組合議員、消費税をなくす埼玉の会常任世話人
- ◆住所 北町1-13-10
- ◆主な活動地域は、北町全域、塚越1・4・5丁目



たけした涼のTwitter
https://twitter.com/TR_2814

活動実況中継的に配信



たけした涼のブログ
<http://ryo-takeshita.com/>

日々の活動や学んだ気づき、など配信

介護保険特別会計予算 新年度事業の特徴および課題

◆「みんなにあなたたかく健康で安心して暮らせるまちわらび」の実現について

市が策定する介護保険事業計画（3年間）は、国の事業計画の影響を受けます。2015年の過去最大の介護報酬のマイナス改定以降、介護事業者の倒産が高止まりし、介護現場の人員不足と同時に労働環境は厳しく、国の政策動向を注視する必要があります。

このような状況のもと、事業計画が最終年度を迎え、基本理念「みんなにあなたたかく健康で安心して暮らせるまちわらび」に照らし

て、予算案の特徴、事業計画の到達、新しい事業、昨年度実施の定期巡回・随時対応型事業など12点について質疑しました。

在宅医療・介護、生活支援、認知症総合支援の課題

質疑では、介護分野での近隣市・関係団体との協働を図っていること、介護ニーズに添えていくこと、認知症初期集中支援の柔軟な対応を図っていくことなどが示されました。

地域要求 新年度予算に反映

▼コミュニティバスぶらっとわらびのルート拡充実現

市内を「ぶらっと」移動できるようにという願いが込められてい

ます。「西ルート逆回り」「東ルートでの市役所直通」の要望や、ルートの拡充といった市民の足として更なる利便性の向上への切実な要望が出されました。党市議団として実現を求め、ついに新年度からルートが拡充されました。



ぶらっとわらび

▼塚越地区・第三地域包括支援センターの開設実現へ前進

塚越地区への「第三地域包括支援センター」の開設に向け、「開設準備経費」を補助する予算が計上されるなど、開設に向けた動きが進んでいます。地域包括支援センターとは、「介護サービスを利用できるのか」「両親の介護が必要かもしれない」といった介護に関する悩みをなんでも相談でき、各種専門家が対応して解決を図ります。予算は計上されましたが、事業者の確定はこれからで、引き続き実現に向け頑張ります。

日本共産党市議団の 質問・質疑

今議会、日本共産党市議団は、全員が本会議で発言。代表質問、議案質疑を通して、市民の声を伝えました。

やまわき紀子議員

国保税率見直しの国保会計予算に質疑

【山脇】税率見直しについての市長の考えは、

「市長」国や県の方針から苦渋の決断をした。引き続き県内でも低い水準での保険税率を維持していく。



鈴木さとし議員

市政と予算全体に関する代表質問

◆「あったか市政」第2ステージにおける「くらしを支える」課題の位置づけ

◆大型事業が続く中での市の財政状況
◆新型コロナウイルス対策での要望 など



宮下奈美議員

◆錦町区画整理事業特別会計補正予算について、国庫補助金や建物移転などについて

◆病院会計予算について、2019年度の現状と2020年度の見通し、および事業内容について



鈴木 智 ☎444-6957 山脇紀子 ☎446-3129
宮下奈美 ☎211-0922 武下 涼 ☎070-6962-0841
ホームページアドレス <http://www.jcp-warabi.jp>
メールアドレス info@jcp-warabi.jp



日本共産党蕨市議団ニュース

3月市議会報告

2020年4・5月号

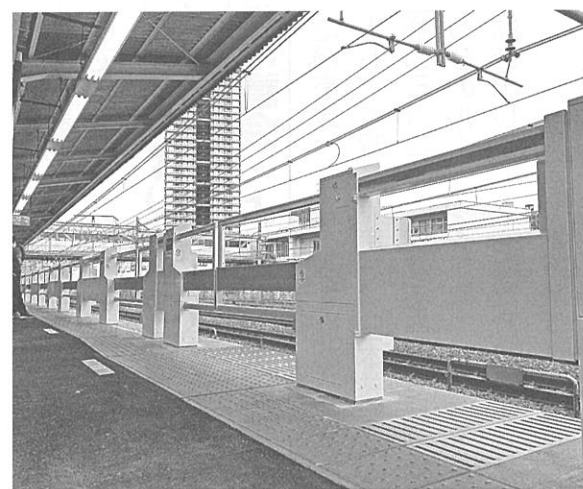
TEL 443-8332
FAX 444-6531

市会議員

2020年度 市民の願いがつつまされた予算が成立

安全安心のまちへ

- ◆市役所新庁舎建設の基本設計・実施設計（庁舎の解体、仮庁舎への移転）
- ◆消防署塚越分署の新庁舎（7月末の完成予定）
- ◆防災行政無線デジタル化（来年度にメール、電話、ファックスなどで情報提供する機能を追加）
- ◆中学校3校の体育館空調設備設置へ設計（工事は来年度）
- ◆蕨駅のホームドア供用開始（2月29日から）
- ◆市民公園の大型遊具リニューアル、5つの公園の長寿命化計画策定、公園灯のLED化



蕨駅に設置されたホームドア

みんなにわたがらまちへ

- ◆認可保育園等の増設（民間認可保育園1園、小規模保育園へ2園）
- ◆塚越地域に民間留守家庭児童指導室を開設
- ◆35人学級の対象は、西小3年、中央東小3・5・6年、塚小4年の計5学年。
- ◆児童・生徒に1人1台のパソコン整備（今年度、小学5・6年生と中学1年生、特別支援学級）
- ◆校内無線LAN整備等）
- ◆手話言語条例制定にむけ、手話通訳者養成準備コースを新たに開設
- ◆高齢者運転免許証の自主返納への支援（65歳以上の免許証返納者にタクシー券または国際興業バス回数券を配布）
- ◆第三地域包括支援センターの公募（塚越地域に来年度開設予定）



蕨錦町ゆたか保育園（4月開園）

快適でやさしいまちへ

- ◆ぶらっとわらびの4路線運行開始（3月27日）
- ◆受動喫煙防止の推進（5月に西口喫煙所撤去後、見回り強化と路面シートを増設）
- ◆商店街街路灯電気料を100％補助
- ◆住宅リフォーム助成制度
- ◆多文化共生のまちづくり推進へ（指針策定に向けた外国人も含めた意識調査や検討組織の立ち上げ）
- ◆歴史民俗資料館に河鍋晩斎美術館の紹介コーナーを設置



コミュニティバスぶらっとわらび

市立病院の充実・発展こそ市民の願い

昨年、厚生労働省は、「再編・統合の議論が必要」な病院として、蕨市立病院を含む約440の公立公的病院の名前を公表。実情を無視した乱暴なやり方に「努力を無視するもの」など批判が広がっています。党市議団は、救急、周産期、小児等、市立病院が地域で果たしている役割を強調。充実発展こそ市民の願いと訴えています。



国の制度改悪などが影響 国保税率を見直し

20年ぶりに国保税率を引き上げる条例改正。年々増加する医療費に加え、国の制度改悪の影響によるものです。特に、市民負担を抑えるための市の努力（一般会計から国保会計への繰出金の一部）を「赤字」と決めつけ「削減」を押し付けていることは重大です。国政を変える運動と世論が必要です。

なお、改定には、「市民への影響は最小限に、県内で最も低い国保税水準を守る」とした党市議団の要望が反映されました。

議会改革がすすむ 「費用弁償」廃止など

議会改革として議論してきた2つの議案が可決されました。

一つは、予算決算常任委員会の設置、もう一つは、議員が議会に出席する度に交通費などの費用として支給される「費用弁償」の廃止です。費用弁償については、支給の根拠が曖昧であり、長年、党市議団は廃止を提案してきました。

また、党市議団が主張してきた政務活動費の情報公開では2019年度分より領収書も含め全て公開。ホームページ上にも掲載されます。

悩み・困りごとは
日本共産党にご相談ください

事務所 ☎443-8332 FAX444-6531



鈴木さとし



やまわき紀子



宮下奈美



武下 涼

新型コロナの影響で暮らしや営業が大変という方も、ぜひお声がけください。

相談日 8月19日(水)
9月 2日(水)・25日(金)



武下 涼



宮下 奈美



山脇 紀子



鈴木 智

専門家や市民団体・労働組合などとも協力し、寄せられた相談や「困りごと」の解決をお手伝いします。

新型コロナウイルスから

市民を守る対策を

日本共産党が要望

5月臨時会・6月定例会・7月臨時会
新型コロナウイルス緊急対策
の関連議案を審議

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が続く中、臨時会(5月1日)、定例会(6月1日・19日)、臨時会(7月20日・22日)と連続し

て市議会が開催されました。日本共産党市議団は、質疑・一般質問などを通して、コロナ禍による市民生活や営業への影響について指摘。深刻化・長期化に対応した、さらなる対策を要望しました(党市議の一般質問は2面に掲載)。

市民に心を寄せて 切実な願いにこたえる 相談活動と緊急 要望

「検査が受けられない」「収入が減り生活できない」など党市議団には、新型コロナウイルスに関連した様々な相談が寄せられています。この間、一つひとつの解決を支援するとともに、ニュースなどで国や蕨市の支援策を広く知らせる活動をしてきました。

2回にわたる「要望書」の主な項目は以下の通りです。
第1弾 ①感染拡大の防止 ②検査・相談・情報提供の体制の強化 ③労働者・フリーランス等への収入補償 ④差別的な言動、いじめなどの防止 ⑤「休校」による保護者、児童・生徒の不安にこたえるきめ細かな対応等
第2弾 ①感染防止と医療機関、学校、保育園、留守家庭児童指導室、介護施設等への支援(マスク・消毒などの支給) ②市立病院の感染防止の徹底と一刻も早い患者の受け入れ再開 ③相談・検査・医療の体制強化 ④発熱外来の体制整備 ⑤市内事業者等の実態把握。蕨市独自の事業者支援の実施等

蕨市新型コロナ緊急対策

【第1弾】

1 緊急経済対策

○蕨市小規模企業者応援金(売上の減った市内小規模企業者に10万円と家賃補助加算(上限5万円)申請締切7月31日)

2 緊急生活支援対策

○ひとり親家庭等支援臨時給付金(児童扶養手当受給家庭に3万円)
○マタニティパスの交付(妊婦の感染予防、移動等の支援として交通系にカード1万円分を交付)申請締切7月31日
○家庭学習の支援(全ての小中学生に教科書準拠ワークブックを配布) など

3 緊急医療対策

○新型コロナウイルス感染防護用品の配備
○市立病院の医療体制の強化(発熱者等の診療体制の整備、入院時におけるPCR検査の実施)

【第2弾】

○水道基本料金(2カ月分)の無料化
○オンライン学習を見据えたパソコン整備の前倒し
○公共施設における感染予防対策の強化

【第3弾】

1 経済対策

○蕨市小規模企業者応援金第2弾
○小規模企業者新型コロナ対策支援事業(国の小規模企業者持続化補助金の事業主負担分を補助・上限25万円)
○地域活性化・消費者応援事業(スマホ決済を活用して消費活性化などを推進)

2 生活支援事業

○水道基本料金の無料化2カ月延長(計4カ月)
○住居確保給付金の利用者急増への対応
○ひとり親世帯臨時特別給付金

3 教育文化支援対策

○児童生徒1人1台のパソコン100%整備
○アーティスト動画配信プロジェクト
○学習指導員、スクール・サポート・スタッフの配置

4 感染予防対策

○災害対策資機材等の整備(感染症発生時に必要な避難所用テントなど)
○市立病院の体制の強化(感染の疑いのある患者に対応した簡易陰圧ブースの整備)

蕨市独自の対策

小規模企業支援・水道料金無料など

緊急事態宣言が出され、国民に外出や営業の自粛が求められると、「自粛と一体に補償を」との世論が広がりました。また、検査や医療の体制への不安、生活への影響も深刻化。そうした中、蕨市長は、4月28日に蕨市緊急対策を発表、「日本一小さな蕨の小規模企業者応援金は、早く手続きできて助かる」「きめ細かい配慮を感じた」など、歓迎の声が寄せられています。緊急対策の概要は左記の通りです。





市民のいのちと暮らしを守る政策や制度の充実を

市議会議員
たけした りょう
武下 涼

武下 新型コロナウイルスの影響により、雇用情勢は悪化の傾向。生活保障制度の重要性は増し、体制を含め拡充が必要だと考えるがどうか。

◆財政状況と今後の方針

武下 新型コロナウイルスの影響を乗り越える上で、国の財政支援とその拡充が決定的に欠かせない。地方創生臨時交付金は創設されたが、使途に制限がある。市民の健康と暮らし、市内業者の営業を守るための対応、支援策の継続・充実を求める。

市長 新型コロナウイルスの影響は

◆生活保障制度の充実

大変深刻かつ長期にわたっている中で、最大限の努力として第1弾、第2弾と緊急対策を講じてきた。100年に一度の危機と言われる中で、必要なところに思い切った支援をしていく。全国的に深刻な状態である以上、国の地方財政計画、支援策など注視しながら、対応していきたい。



コロナ対策・子育て家庭をめぐる問題を質問

市議会議員
やまわき のりこ
山脇 紀子

2歳21人、3歳20人、4歳2人、5歳2人の計78人。3歳児の移行は52人希望し15人が移行できなかった。

山脇 家庭児童相談室での

健康福祉部長 電話での相談体制を継続。相談件数は

健康福祉部長 電話での相談体制を継続。相談件数は

全国的に増えている児童虐待の相談件数と終結状況は。

健康福祉部長 電話での相談体制を継続。相談件数は

健康福祉部長 電話での相談体制を継続。相談件数は

4月12件（児童虐待4件）5月37件（23件）と5月は増加。すべてが終結。

山脇 新年度の保育園の承認者数は。3歳児の認可保育園の移行状況は。

山脇 新年度の保育園の承認者数は。3歳児の認可保育園の移行状況は。

※ほかに、保健センターでの育見健診の実施状況と育見

部長 0歳9人、1歳24人、

部長 0歳9人、1歳24人、

育見健診の実施状況と育見

部長 0歳9人、1歳24人、

部長 0歳9人、1歳24人、

育見健診の実施状況と育見

部長 0歳9人、1歳24人、

部長 0歳9人、1歳24人、

育見健診の実施状況と育見

部長 0歳9人、1歳24人、

部長 0歳9人、1歳24人、

育見健診の実施状況と育見

部長 0歳9人、1歳24人、

部長 0歳9人、1歳24人、

育見健診の実施状況と育見

部長 0歳9人、1歳24人、

部長 0歳9人、1歳24人、

育見健診の実施状況と育見

部長 0歳9人、1歳24人、

部長 0歳9人、1歳24人、

育見健診の実施状況と育見

部長 0歳9人、1歳24人、

部長 0歳9人、1歳24人、



コロナ感染拡大教育・DV相談での影響と対策

市議会議員
みやした なみ
宮下 奈美

宮下 DV相談について、相談件数が増加している。相談室の防犯スプレーやベル等、相談員が安全に話しが聞ける体制の充実を要望した。

◆教育長 行事が減り学びへの関心・意欲の低下が心配。

宮下 教育について、子どもたちへの影響をどう考えるか。

教育長 行事が減り学びへの関心・意欲の低下が心配。

教育長 行事が減り学びへの関心・意欲の低下が心配。

観が可能な球技大会の実施など工夫していく。また、「わかる・できる・楽しい」を実感できる魅力ある授業が提供できるよう教員一人ひとり

観が可能な球技大会の実施など工夫していく。また、「わかる・できる・楽しい」を実感できる魅力ある授業が提供できるよう教員一人ひとり

ものほは保存。販路が難しいものは保存。販路が難しいものは保存。

ものほは保存。販路が難しいものは保存。販路が難しいものは保存。

市民生活部長（現制度の）

市民生活部長（現制度の）

給付状況を見て検討する。

給付状況を見て検討する。

鈴木 難しい状況に対応する上で商店等リニール助成（仮称）の実施を要望する。（さらに、災害対策での感染防止等を質問し）今後の対応について、市長の見解は。

鈴木 難しい状況に対応する上で商店等リニール助成（仮称）の実施を要望する。（さらに、災害対策での感染防止等を質問し）今後の対応について、市長の見解は。

鈴木 小規模企業者応援金等様々な支援を行ってきた。今後、何が必要か、事業者への直接給付、再開支援、消費拡大も含め検討したい。災害対策での感染防止等も重要。引き続き、身近な自治体として全力をあげる。

鈴木 小規模企業者応援金等様々な支援を行ってきた。今後、何が必要か、事業者への直接給付、再開支援、消費拡大も含め検討したい。災害対策での感染防止等も重要。引き続き、身近な自治体として全力をあげる。

※ほかに羽田空港ルート変更の影響と対応を質問。

※ほかに羽田空港ルート変更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。

更の影響と対応を質問。



コロナ対策の拡充を介護・事業者・災害対策など

市議会議員
すずき さとし
鈴木 智

健康福祉部長 相談で電話やインターネット等の活用は重要。交流でも研究したい。

鈴木 【介護・高齢者福祉の対策】外出自粛や事業等の中で、一人暮らし高齢者や認知症悪化を懸念する家族の不安が寄せられた。事業再開、相談等の充実が必要。

鈴木 【市内商工業者への支援】経済的影響の深刻化を懸念。小規模企業者応援金で、影響の長期化に対応した制度等を実施する考えは。

健康福祉部長 一刻も早く再開したいが、感染防止が第一。慎重に対応したい。

健康福祉部長 一刻も早く再開したいが、感染防止が第一。慎重に対応したい。

鈴木 対面が制限される中で相談や交流について。

鈴木 対面が制限される中で相談や交流について。

鈴木 対面が制限される中で相談や交流について。

鈴木 対面が制限される中で相談や交流について。

鈴木 対面が制限される中で相談や交流について。

鈴木 対面が制限される中で相談や交流について。

鈴木 対面が制限される中で相談や交流について。

鈴木 対面が制限される中で相談や交流について。

鈴木 対面が制限される中で相談や交流について。

鈴木 対面が制限される中で相談や交流について。

鈴木 対面が制限される中で相談や交流について。

鈴木 対面が制限される中で相談や交流について。

鈴木 対面が制限される中で相談や交流について。

鈴木 対面が制限される中で相談や交流について。

鈴木 対面が制限される中で相談や交流について。

鈴木 対面が制限される中で相談や交流について。

鈴木 対面が制限される中で相談や交流について。

鈴木 対面が制限される中で相談や交流について。

鈴木 対面が制限される中で相談や交流について。

鈴木 対面が制限される中で相談や交流について。

鈴木 対面が制限される中で相談や交流について。

鈴木 対面が制限される中で相談や交流について。

鈴木 対面が制限される中で相談や交流について。

鈴木 対面が制限される中で相談や交流について。

感染防止対策のいっそうの強化を

日本共産党市議団が頼高市長に緊急申し入れ



検査・医療の体制強化などさらなる対応を要望しました。党市議団の新型コロナウイルスに関する要望書はこれで3回目。頼高市長(右)に申し入れる日本共産党蕨市議団(左から武下、宮下、山脇、鈴木各市議。8月24日蕨市役所内)

議会初日、頼高市長は、この間の新型コロナウイルス対策の実施状況について報告しました。主な内容は以下の通りです。

新型コロナウイルス対策 を着実に実行 頼高市長が報告

9月定例市議会は1日から28日の会期で行われ、補正予算や決算認定など市長提出議案15件の全てを可決・認定しました。一般質問は、日本共産党4人を含む16人の議員が行いました。

1人10万円の「特別定額給付金」は8月末で全世帯の97・8％に支給を完了。蕨市の経済対策では、「小規模企業者応援金」総額約1億5986万円(約1500件)を支給し「第2弾」受付も開始。「小規模企業者新型コロナウイルス対策支援事業」等も進行中です。他に、「水道基本料金の4か月無料化」等の生活支援対策、「発熱外来の整備」等の市立病院の医療体制の強化をはじめ、数々の施策を行っています。

消費税増税・新型コロナの影響は深刻 くらしを守る市政のさらなる前進を

9月定例市議会の報告

消費税増税・コロナの影響も

2019年度

決算の特徴

2019年度決算の審議で明らかとなった主な内容を紹介します。

※ ※ ※

〔市税等の収納で配慮を〕
新型コロナウイルスの影響で減収となった市民に対し、徴収猶予の特例等、国の通知に基づき対応していることを質疑で確認。この間、党市議団は柔軟に対応すること等の配慮を要請していました。

〔市の借入金〕

蕨市の借入金残高合計は約288億3千万円。市長就任以来67億7千万円(臨時財政対策債を除き137億8千万円)減少しています。

〔市民要望が実現〕

日本共産党市議団が要望し2019年度に実現した主なものを紹介します。

病児病後児保育が開設

昨年度は261人が利用。

新型コロナウイルスの影響はあったものの、全体として利用者は順調に増加してきました。



蕨駅ホームドアの設置
2017年の事故を受け、蕨市はホームドアの早期設置をJR東日本に要望。当初の計画が1年前倒しされ、今年2月末に供用開始となりました。党市議団は党国会議員団や障がい者団体と要望に出向くなど実現を求めてきました。



就学援助制度・
入学準備金の就学前支給
小学校でも始まる
本年4月入学予定の児童・生徒の保護者に就学検診及び入学説明会で申請用紙を配布。小学校21人、中学校50人に入学準備金を3月末に支給。党市議団は、繰り返し入学前の支給を求めています。



想定浸水深の表示
市内100か所に荒川氾濫時に想定される浸水深の表示が設置されました。党市議団は地域の特徴にあった対策を求めています。



コミュニティバスの
ルート拡充が実現
多くの意見や要望をもとに検討や協議が行われ新ルートが決定。3月27日に運行が開始されました。新たに5か所のバス停へのベンチ設置が実現しました。

日本共産党市議団の 生活相談

相談日 11月4日(水)・18日(水)
12月4日(金)・23日(水)

時間:午後2時～4時まで
場所:仮設庁舎3階(北町2丁目)
日本共産党議員控え室
電話/Fax:432-3590

市役所の窓口が移転しました

住民票や税金・国保・介護・子育て等は市民会館へ
教育・まちづくり・防災・議会等は北町の仮設庁舎へ
市役所庁舎の建替えのため、完成するまでの間、市役所業務は仮庁舎(市民会館)、仮設庁舎(北町2丁目)等で行われます。また、日本共産党市議団の控え室も、仮設庁舎3階へと移動となります。

消費税増税とプレミアム付き商品券

地域の営業を守るために市内関係者は商品券事業に懸命に取り組みなした。しかし、国の制度自体の問題で活用は広がらず、発売数は1万3596冊(13万5960枚)、予定数の18%にとどまりました。国民の不安を無視し増税を強行した自公政権の責任は重大です。



蕨市国保の果たすべき役割 蕨市立病院に期待される役割

市議会議員
たけした 涼

蕨市国保を守るために
県にしっかり意見表明を

武下 市民の約24%が市国保の加入者。コロナの影響から国の減免制度、また、埼玉県国民健康保険運営方針案(第2期)、これらの状況は市民に影響を与える。方針の「保険税水準の統一」は大きな問題。市として意見を挙げていくことが重要。市国保の在り方について見解は。

部長 第2期方針案において個々の市町村の実態を踏まえない統一の目標年次が設定された。被保険者の急激な負担増を招く。市町村の実態を踏まえるよう強く要望していく。

市長 県に対しては、市町村の実情に応じた対応が可能になるような意見を求めている。市民の暮らしや健康を守る立場で対応したい。

武下 市民への影響は重大。引き続き市町村の実態を県に伝えていきたい。

◆市民の健康を守り、地域医療を保障する市立病院

武下 コロナ禍で医療機関の役割が注目される。病院機能の充実には医療職や事務職の役割発揮、職場環境改善が必要。建替えを含め市長の見解は。

市長 新型コロナという事態に際して公的医療機関の役割は大きくなってきている。コロナでは国からの支援も確保しないとけない。市民の健康を守る拠点として重要な役割を果たせるように人材確保、育成を含め、しっかり取り組んでいきたい。



新型コロナの影響で
大変な子育て世帯等
について質問

市議会議員
やましろ 紀子

山脇 ひとり親世帯臨時特別給付金や収入が減少した世帯への追加給付の状況は。

健康福祉部長 基本給付は352世帯、第2子以降の児童154人、家計急変は5世帯、児童2人に合計2253万円支給。追加給付は151世帯合計755万円を支給。来年1月29日がまで申請期限。

◆「子育てするならわらび」
保育行政の推進

山脇 保育園の待機児童数と待機児童ゼロへの取り組みは。

部長 2020年度2人(3

歳)、19年度46人、18年度22人。部長 20年4月に新規認可保育園の開設及び既設認可保育園の定員拡大、2か所の小規模保育室への移行で定員増を図った。今後は保育・子育てコンシェルジュの活用する。

◆平和都市宣言35周年のとり
くみはどうか。

総務部長 昨年度から平和都市宣言を紹介するクリアファイルを全中学生に配布開始。教育部長 全小中学校で歴史民俗資料館が収集している戦争体験者の「語り」等の映像資料等を活用し平和学習を検討。

◆他に介護保険第8期計画、
コミバスの新ルートに質問。



災害時 避難所での
ペット同行避難とト
イレ問題について

市議会議員
みやの 奈美

宮下 ペット同行避難では飼い主がペットとともに躊躇なく避難できる体制を整えること

で全ての住民の安全を確保する事が大切。飼育場所の確保と、また、県の「ペット同行避難ガイドライン」の活用はどうか。

市民生活部長 飼育場所は原則、住居スペースと離れた場所に確保。

(ガイドラインは) 避難所運

や周辺で連れ去られて暴行を受ける被害報告がある。女性や子どもが集団で使用できるトイレを整備してほしい。

市民生活部長 提案のトイレはより女性への配慮が行きとどく等特徴があると認識している。全体の備蓄を考える中で調査検討していきたい。

◆コロナ禍での子どものメ
ディア依存と健康被害問題

宮下 コロナ禍でPC等における時間が増加。授業等で自らが健康被害の問題を考えられる機会を作してほしい。

教育長 子ども達が主体的に考え意見を出しあう取り組みを、今後も活かして行きたい。



新型コロナ感染防止
へさらなる対策強
化を

市議会議員
すずき 聡

鈴木 感染予防が特に必要とされる市職員への検査、民間介護施設などでの検査への補助を検討する考えはないか。また検査などの実施機関への支援等を行う考えはないか。

部長 国・県の動向を注視し可能な対応を検討したい。

◆障がい者入所施設の整備

市長 高齢者等の感染防止には入所者、従事者の検査が必要。県・保健所の対応が中心と

要。県・保健所の対応が中心と

部長 定期的に川口市、戸田市と協議。昨年4月には入所施設への運営費補助制度を開始した。待機者は8月1日現在で知的障がい者18人、身体障がい者2人という状況。

鈴木 圏域内で入所施設があるのは川口市内のみ。戸田市と共同での整備も検討しないか。

部長 戸田市では重点施策ではない。引き続き、川口市も含め検討研究したい。

鈴木 (家族の高齢化などで) 事態は深刻に。戸田市との共同も含め引き続き努力を。

◆他に、蕨駅西口再開発、新庁舎建設と近隣への影響、ゲリラ豪雨対策について質問。

日本共産党市議団の 生活相談

新型コロナの影響で暮らしや
営業が大変という方も、ぜひ
お声がけください。

相談日 1月13日(水)
2月 3日(水)・17日(水)



武下 涼



宮下 奈美



山脇 紀子



鈴木 智

専門家や市民団体・労働組合などとも協力し、寄せられた相談や「困りごと」の解決をお手伝いします。

12月定例市議会報告

新型コロナウィルス感染拡大から 市民を守る

■新たな対策示される■

2020年度の蕨市議会
第6回定例会・12月議会(11
月26日～12月16日)は、新型
コロナ対策を盛り込んだ補
正予算など市長提出議案20
件、議員提出議案2件を可
決。市民から提出された陳
情は不採択となりました。

市独自の検査など新型コロナ対策に全力

頼高英雄市長の報告

議会初日、頼高英雄市長

は、新型コロナ対策、地域包

括支援センターの稼働地域

での整備、手話言語条例制定

に向けた取り組み、子ども家
庭総合支援拠点の設置など、
6点について報告しました。

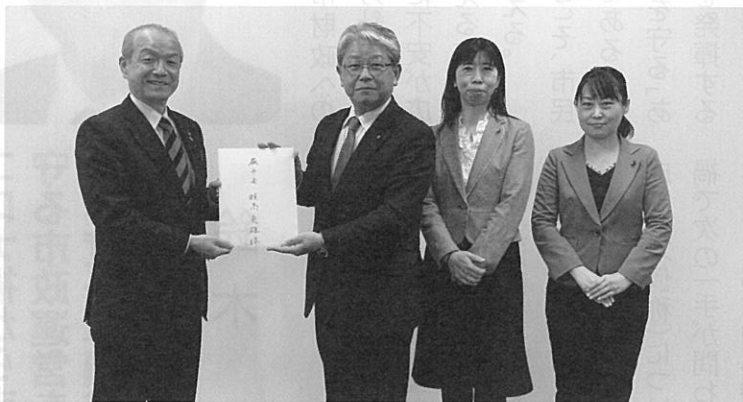
1人10万円の特別定額給
付金は、7万5561人(99・
7%)に総額75億5610万
円が支給されました。「小規
模企業者応援金第2弾」は1
536件、総額1億5360

命と健康まもる新型コロナ
緊急対策第4弾

急速な感染拡大から市民
の命と健康を守る緊急対策
第4弾として、「検査・医療体
制の拡充」「更なる感染防止
対策」を柱とする6事業(2
面で紹介)が示されました。

施設や職場などで感染が
発生した際、行政検査の対象
外となった希望者の検査を
市費で行う「濃厚接触者以外
の新型コロナウィルス検査委
託」などは蕨市独自の対策で
す。

新型コロナから命とくらしを守る市政を 日本共産党市議団の予算要望



11月16日、日本共産党市議団は「2021年度の予算編成に対する
要望書」を頼高市長に手渡しました。

重点要望は「新型コロナウィルスから市民の命とくらし・営業を守る」
「市民の願いを生かし、安全・安心のまちづくり」「市民の暮らしと福祉
を最優先した行政を」など6つのテーマで構成。新型コロナ対策では、
厳しい財政状況でもくらしを支える立場を堅持すること、検査・医療体
制の充実、市立病院の積極的な対応など求めています。



発熱者専用の待合室(右)が
整備された市立病院

日本も核兵器禁止条約に批准を

日本共産党が賛成討論

今議会に提出された「日
本政府に核兵器禁止条約に
参加を求める意見書の提出
を求める陳情」に日本共産
党は賛成討論で「市民とと
もに核兵器廃絶を訴えてき
た日本共産党市議団は同条
約の発効を歓迎する。日本
政府は、世界の動きや被爆
者をはじめとする国民の思
いを受け止め、核の傘から離
脱するとともに、同条約を
批准し、核兵器廃絶に積極
的な役割をはたすべき」との
見解を示しました。

採決では、令政クラブ、公
明党の各会派と維新・無所



毎月、蕨駅前で核兵器廃絶を訴えている市民団体の皆さん
(2020年8月6日) 日本共産党市議団も毎回参加

12月議会で審議された主な議案

一般会計補正予算

一般会計補正予算の主な
内容は、新型コロナ対策第4
弾にかかわる補正のほかに、
すでに市内で子育て支援事
業を展開する民間事業者へ
の地域子育て支援センター
事業の委託費、中学校体育
館のエアコン設置工事委託
料(工事は2021年夏を予
定)などです。

市長給与、議員報酬など

人事院勧告に準じて市
長、教育長、市職員及び議員
の期末手当を0・05月分
引き下げる各条例、コロナ禍
による財政的影響を考慮し
て2021年1月～3月の
間、市長給与20%、教育長給
与10%、議員報酬10%を削
減する臨時特例の各条例を
可決しました。



市議会議員
鈴木 智

コロナ禍から市民を守る市政運営を 新年度予算編成など

鈴木 コロナ禍の市財政への影響及び予算編成方針の特徴はどうか。市民の中に不安が広がる今、くらしを支える施策などを継続すべきと考える。

◆地域経済対策について

鈴木 小規模企業者応援金第3弾を実施する考えはないか。

市民生活部長 国県の対策や財政状況等総合的に勘案し検討。

鈴木 コロナ禍の中こそ、市民に最も身近な存在である蕨市として暮らしや営業を守る「あったか市政」の真価を発揮する時期と考える。市民とともに、市長先頭にこの難局を乗り越

コンサルに力点を置く制度として検討すべき。

市民生活部長 商工会議所との協議を重ねながら、専門家による診断など、より厳しい制度として検討を進めたい。

◆コロナ禍での介護事業

鈴木 市民団体の介護事業所アンケートには様々な不安や要望が記されていた。市としても把握し支援してほしい。

健康福祉部長 県と市がそれぞれ所管する事業所を把握している。連携して支援、サービス提供ができるようにしたい。

◆他に、埼玉県国保運営方針の問題と対応、高次脳機能障害への支援等について質問。



市議会議員
宮下 奈美

市民の命と健康を守るため、検査・医療体制の充実を

宮下 この間の対応は。

病院事務局長 いち早く民間検査機関と委託契約を結び6

月には唾液のPCR検査や短時間で結果が出る抗原定量検査等を積極的に進めてきた。また、鼻から検体採取1回で同時にインフルエンザ検査もできるキッドを導入。安全に検査するための「安全キャビネット」も整備し万全の体制で臨んでいる。

◆「心の相談」について

宮下 HPですぐ見つけられるよう、もっとわかりやすく。健康福祉部長 簡単な検索方

法を検討していきたい。

◆LGBTQについて

宮下 パートナースHIP制度の具体的な検討を。市民団体との連携も必要ではないか。

市民生活部長 調査・研究しながら検討していきたい。

宮下 第二中学校で選択制の制服を来年度から導入。他の

中学校でも検討してほしい。

教育部長 情報共有を進めていきたい。各校において生徒の意見や主旨等を理解し、慎重・丁寧

に検討していきたい。

蕨市新型コロナ緊急対策第4弾

検査・医療体制の拡充

○高齢者等新型コロナウイルス検査助成

65歳以上の高齢者・基礎疾患のある60歳以上の方に費用の一部を助成(希望者)自己負担5,000円
※保健センター431-5590

○濃厚接触者以外の新型コロナウイルス検査委託

児童生徒や高齢者等の施設・職場等で感染者が発生した場合、行政検査の対象外の方で検査希望者にPCR等検査を実施(市立病院にて)。自己負担なし。

○行政検査協力医療機関支援補助PCR検査協力機関として行政検査を行う医療機関に10万円を給付

○市立病院における医療体制の充実

- ①「埼玉県診療・検査医療機関」指定病院として、発熱患者に新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ両方の診療・検査に対応できる体制を整備
- ②新型コロナウイルス・インフルエンザを同時に検査できる検査キットの導入
- ③検査スタッフが安全のための安全キャビネットの設置

感染防止対策

○高齢者等インフルエンザ予防接種無償化の延長

65歳以上の高齢者、60歳以上の基礎疾患がある方へのインフルエンザ予防接種の無償期間を一カ月延長(1月末まで)

○新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業

保育園など児童福祉施設の新型コロナウイルス感染対策を支援。国県の補助金を活用し1事業あたり最大100万円補助(消毒液、空気清浄機など)

～追加の対策～

○ひとり親世帯臨時特別給付金

児童扶養手当受給者に1世帯5万円、第2子以降1人3万円。家計が急変し支給相当となった場合は要申請。 ※児童福祉課433-7758



市議会議員
山脇 紀子

コロナ禍で大変な子育て家庭への支援拡大を質問

山脇 「子ども家庭総合支援拠点」設置の目的はどうか。相談体制の充実になるのか。虐待相談件数はどうか。

健康福祉部長 現在の家庭児童相談室を児童福祉課内に移し一体的な体制とし、機能強化と相談体制の充実を図る。子ども家庭支援員2名、虐待対応専門員2名、調整担当者1名を配置し、計5名体制にする。

山脇 昨年度210件、今年度9月末まで128件。

山脇 待機児童ゼロをめざしての取組状況はどうか。

部長 今年度は認可保育園の開設、既設認可保育園の定員拡大、小規模保育園2園の開

設で、待機児童が大幅に減少(4月2人)。来年4月の入園申し込みも減少(昨年度から58人減の357人)。保育子育て

コンシェルジュのきめ細やかな相談対応等で待機児童ゼロをめざしていきたい。

◆手話言語条例の制定にむけた取り組みや周知は

部長 昨年度より蕨市聴覚障害者協会、蕨市手話サークル、蕨市社会福祉協議会の皆さんと「手話言語条例の制定」の検討を進め、来年3月の定例会に上程したい。条例の普及啓発のリーフレット等を作成したい。

◆福祉入浴券を戸市内の浴場でも利用できるよう拡充を

部長 現在は、新たな対応による混乱をさけたいとのこととで合意に至っていない。引き続き、申し入れていく。